

第103期中間期 株主通信

2018年1月1日～2018年6月30日



東洋ゴム工業株式会社

証券コード 5105

概要 (2018年6月30日現在)

商号	東洋ゴム工業株式会社
(英文表示)	Toyo Tire & Rubber Co., Ltd.
設立	1945年8月1日
資本金	30,484,627,991円
従業員数	12,704名(連結)
本社	〒664-0847 兵庫県伊丹市藤ノ木2丁目2番13号 TEL:(072)789-9100
工場	仙台工場/桑名工場/兵庫事業所
主要製品	各種タイヤ(乗用車用、トラック・バス用、建設機械用、産業車両用)、 その他タイヤ関連製品 自動車用部品(防振ゴム、トラック・バス用空気バネ、シートクッション、 等速ジョイントブーツ)

Contents

- 02 社長メッセージ
- 03 連結財務ハイライト
- 04 中期経営計画「中計'17」の進捗
- 05 TOPICS(2018年上半期の主な出来事)
- 06 株主優待のご案内/株式の状況/株主メモ

社長メッセージ

当期の経営成績

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第103期中間期(2018年1月1日から2018年6月30日)の業績の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

当期における経済環境は、米国では良好な雇用・所得環境を背景に個人消費が堅調に推移し、景気の拡大が持続しました。欧州でも輸出の低迷による影響が見られたものの、景気は緩やかに回復しました。わが国では、企業収益と個人消費が堅調に推移したことにより、景気の回復基調が続きました。しかしながら、世界的な貿易摩擦の激化懸念により、先行きの不透明感が拭えない状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは2017年度を起点とする4ヵ年の中期経営計画「中計'17」の目標達成に向けて、北米市場の商品力強化と増販に向けた体制強化、商品ミックスの最適化、開発力・技術力の進化、ブランド力の向上と効率的な供給体制の構築などに取り組みました。

当期の売上高は1,857億38百万円(前年同期比3.3%減)、営業利益は208億5百万円(同4.7%減)、経常利益は190億9百万円(同1.7%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、製品補償対策費及び製品補償引当金繰入額を特別損失として計上したことにより、70億68百万円(同36.2%減)となりました。

なお、売上高の前年同期比には、昨年末に実施した化工品事業(建築用免震ゴム事業を除く)及び硬質ウレタン事業の譲渡による影響額115億80百万円が含まれています。

通期の見通し

2018年度通期の業績見通しにつきましては、主として、自動車部品事業において業績が悪化したことや当期に特別損失を計上したこと等により、前回発表時(2018年5月11日)の予想を下方修正いたしました。売上高は3,950億円(前年同期比2.5%減)、営業利益は450億円(同0.7%減)、経常利益は420億円(同4.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は220億円(同42.2%増)を見込んでいます。

なお、当期における中間配当は1株当たり20円としました。期末配当は1株当たり25円とさせていただきます。予定です。

持続的成長に向けて

当社は、企業変革の取り組みを積み重ねて、2018年度よりタイヤ・自動車部品というモビリティ分野を事業の中核に据えた新たな経営体へと生まれ変わりました。さらに、2019年度からは社名を「TOYO TIRE株式会社」へと変更することにより、名実ともに、モビリティ産業の一角で事業経営を行っていくこととなります。

自動車産業界が100年に一度と言われる歴史的転換期を迎えるなかで、予断を許さない経営環境が続くものと予想されますが、当社はさまざまな課題を一つずつ克服して、持続的成長を図ってまいります。株主の皆様には、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

清水隆史

実績/予想と「中計'17」

	2017年度実績	2018年度予想	「中計'17」 2020年度目標
売上高	4,049億円	3,950億円	4,800億円
営業利益	453億円	450億円	600億円
営業利益率	11.2%	11.4%	12.5%

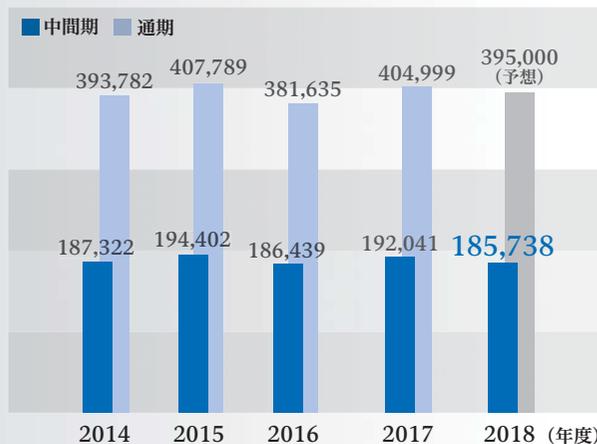
1株当たり配当金

2017年度		2018年度	
中間期	期末	中間期	期末(予想)
20円	25円	20円	25円

連結財務ハイライト

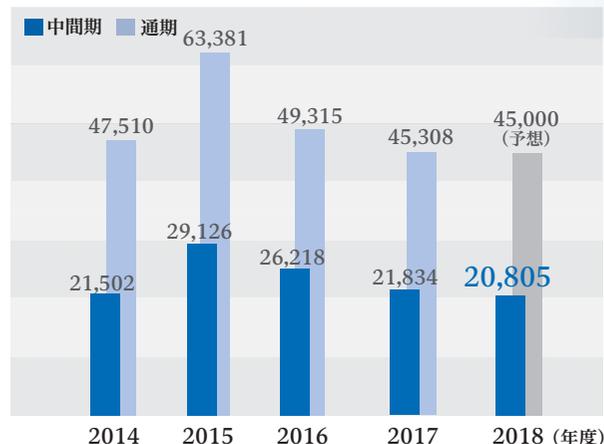
売上高

(百万円)



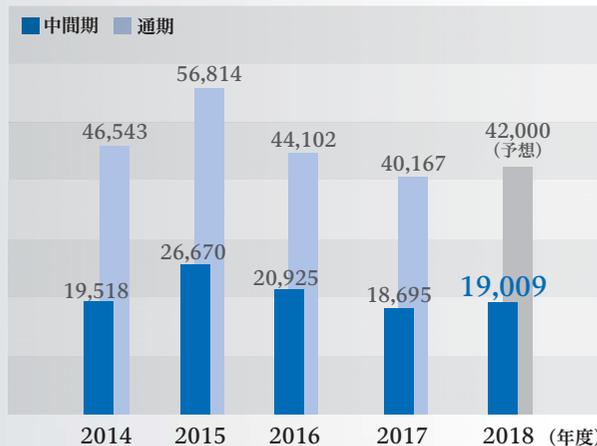
営業利益

(百万円)



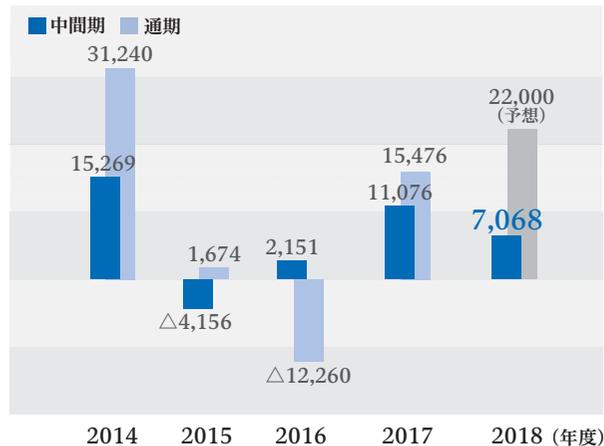
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



※(予想)は2018年8月10日発表値

事業別売上高比率



タイヤ事業

売上高は1,600億46百万円(前年同期比3.9%増)となり、営業利益は226億69百万円(同5.6%増)となりました。

160,046 百万円

86.2%



※売上高の合計には、其他事業の売上高及び調整額が含まれています。

自動車部品事業

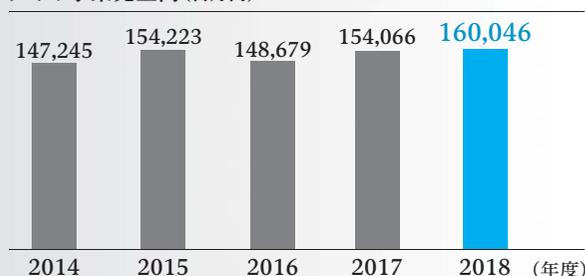
売上高は256億61百万円(前年同期比32.4%減)となり、営業損失は19億1百万円(前年同期は3億25百万円の利益)となりました。

25,661 百万円

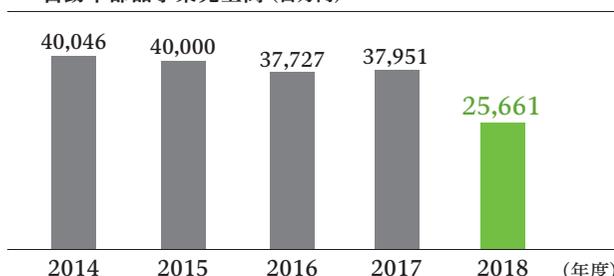
13.8%



タイヤ事業売上高 (百万円)



自動車部品事業売上高 (百万円)



(注)2017年度末において、化工品事業(建築用免震ゴム事業を除く)及び硬質ウレタン事業を譲渡したことに伴い、2018年度より、報告セグメントの名称を「ダイバーテック事業」から「自動車部品事業」へ変更しております。上述における自動車部品事業の前年同期比増減については、ダイバーテック事業(化工品事業及び硬質ウレタン事業を含む)に対するものを記載しており、売上高推移のグラフも、2017年度まではダイバーテック事業の数値となります。

中期経営計画「中計'17」の進捗

当社グループは、2017年度を起点とした4か年の中期経営計画「中計'17」に取り組んでいます。2018年度からはモビリティ分野をビジネスの中核に据え、2020年以降も持続的な成長を実現するため、目標達成に向けて邁進しています。

「中計'17」(2017～2020年度)



- 持続的成長に向け、事業機能・経営基盤の強化に一層注力する
- 営業利益率を維持・拡大しつつ、重点ターゲット領域での着実な成長を目指す

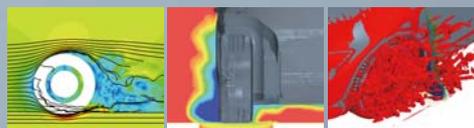
「次世代モビリティをデザインする独自のテクノロジー」

トラック・バス用タイヤの低燃費化

分子レベルでゴム材料の高度最適化を図る基盤技術「Nano Balance Technology(ナノバランステクノロジー)」をさらに進化させ、ゴムコンパウンドにおいて、耐摩耗性能を維持しながらエネルギーロスを従来比約20%抑制できるゴム配合に成功しました。このナノ加工技術を採用した新しいトラック・バス用タイヤを年内にも商品化していく予定です。

タイヤの空力特性の向上

実際のタイヤ形状やホイール、車両といった個別の諸条件を組み合わせたうえで、走行中に受ける空気抵抗を高精度にシミュレーションし、可視化できる独自の「モビリティ・エアロダイナミクス技術」を確立しました。自動車のさらなる低燃費化やEV化に求められる「空力特性*の高いタイヤ」の実現にアドバンテージが得られるものです。



*空気中で物体が移動、運動するときに受ける空気の流れの力(抵抗)や流れの性質。

タイヤ空洞共鳴音を低減

モビリティの音に関わる課題を解決していく新技術「Toyo Silent Technology(トヨーサイレントテクノロジー)」に基づき、車内騒音の一つであるタイヤ空洞共鳴音を低減する独自デバイスを開発しました。走行試験では、200-250Hz帯域において最大マイナス12dBという顕著なノイズ低減効果を得ました。



Toyo Silent Technology

2018年上半期の 主な出来事



事業



経営



CSR活動

2018.07.31

東洋ゴムグループ
「CSR報告書2018」を発行

2018.07.11~13

自動車技術専門展人とくるまのテクノロジー展2018名古屋へ出展

2018.06.29

タイヤ空洞共鳴音を低減する
独自デバイスを開発

2018.06.01

プレミアムSUV用スポーツタイヤ「PROXES Sport SUV」を国内で発売

タイヤラベリング制度におけるウェットグリップ性能最高グレード“a”を実現するとともに、操縦安定性能、摩耗ライフ、転がり抵抗性能なども高い次元でバランスさせています。「日刊自動車新聞 用品大賞2018」では最高位の「グランプリ」を受賞しました。



2018.06.01

TOYO TIRESブランド
コンセプトムービーを一新

2018.05.30

タイヤの空力特性の向上に寄与する独自の
空力シミュレーション技術を確立

2018.05.29~06.01

世界最大級のタイヤ国際見本市(ドイツ・ケルン)に
TOYO TIRESブースを出展

2018.05.11

2018年度第1四半期決算を発表

2018.04.24

世界に挑む国内アスリートたちの
スポンサードを決定

2018.04.13

SUV用タイヤ「OPEN COUNTRY」シリーズ
2商品を国内で発売



OPEN COUNTRY U/T OPEN COUNTRY M/T

2018.04.08 & 15

タイヤ安全啓発活動を実施

2018.04.01



乗用車用低燃費
スタンダードタイヤ
「SD-7」を国内で発売

SD-7

2018.03.29

第102回定時株主総会を開催

2018.03.12

トラック・バス用タイヤの低燃費化に
寄与するナノ加工技術を確立

2018.03.01

トラック・バス用低燃費オールウェザータイヤ「NANOENERGY M676」を国内で発売

2018.02.15

仙台工場および桑名工場の一部リノベーションにより
UHP/SUV用タイヤの供給能力増強

2018.02.15

2017年度通期決算を発表

2018.01.17

GLM社とEV車両向け足回りモジュールの
共同開発に着手

2018.01.10

東洋ゴムグループ環境保護基金の2018年度助成先36団体を決定



全国6カ所の高速道路のS.A.やP.A.で
「タイヤ無料安全点検」を実施し、タイヤ
の日常点検・整備の重要性を呼びかけ
ました。



NANOENERGY
M676

2018.01.12~14

「TOKYO AUTO SALON 2018」に
TOYO TIRESブース、NITTOブースを出展



「本物の走り」を支える
TOYO TIRESブランド、
ラグジュアリーかつワイルド
なNITTOブランドの世界
観をお客様に披露しました。

株主優待のご案内



株主優待制度をご活用ください

対象となる株主様

毎年12月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている当社株式1単元(100株)以上を保有されている株主様。

応募カードおよび専用封筒の発送時期

毎年3月末に発送します。

株主優待の概要

トーヨータイヤまたはニットータイヤをご購入いただいた方に、下記条件に応じてクオ・カードを贈呈します。

- サイズに関わらず1本から3本、お買い上げの場合 **1,000円**
- 15インチ以下かつ4本以上、お買い上げの場合 **2,000円**
- 16インチ以上かつ4本以上、お買い上げの場合 **3,000円**

商品券として
使えるクオ・カード
をお届け!



応募カード*

レシートまたは領収書

トーヨータイヤまたは
ニットータイヤ

専用封筒*

※毎期末に
お届け



株式の状況

(2018年6月30日現在)

株主数

13,025名

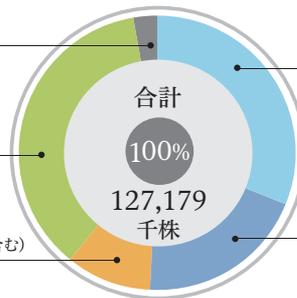
発行済株式総数

127,179,073株

2.73% 金融商品取引業者
3,468千株

36.25% 外国法人等
46,101千株

10.10% 個人・その他(自己名義株式含む)
12,848千株



金融機関 **31.22%**
39,708千株

その他の法人 **19.70%**
25,054千株

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から同年12月31日まで

配当基準日 12月31日(中間配当を行う場合は6月30日)

定時株主総会 毎年3月

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関

公告方法 電子公告【公告掲載URL】<http://www.toyo-rubber.co.jp/ir/information/koukoku/>
但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関するお問い合わせ

お問い合わせの内容	お問い合わせ先
<ul style="list-style-type: none"> 住所・氏名等のご変更 単元未満株式の買取・買増のご請求 配当金の受取方法のご指定 相続に関する手続き 	お取引の証券会社等 ※特別口座に記録された株式については、 下記の三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替手続き 未払配当金に関するご照会 その他株式事務に関するお問い合わせ 	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料)

東洋ゴム工業株式会社

本社 〒664-0847 兵庫県伊丹市藤ノ木2丁目2番13号
ホームページアドレス <http://www.toyo-rubber.co.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。